



▲全員がマスク姿でいつもと違う卒業式

春爛漫、例年ならお花見や行楽に最適の季節ですが、4月7日、政府から、コロナウイルスによる「緊急事態宣言」が出されました。兵庫県も対象地域に指定されました。播磨町でも卒業式・入学式の縮小、休校、各種団体の総会や「風薫るフェスタ」の中止など、自粛による延期や中止が続いています。それぞれのご家庭におかれましても、感染を防ぐために危機感をもって自粛に努めていただいていると思いますが、そうした努力が実を結び、大切な人の「命」が失われないことを切に願っています。「ウイルスは人を選ばない」ということをぜひ肝に銘じて、行動していただきたいと思っています。

◆町内の学校園の卒業式、入学式が挙行されました。卒業式は卒業生、保護者、教師や来賓(縮小)も全員マスクを着用しての式でした。これまで見たことのない光景の中で粛々と行われましたが、式歌もなく、祝辞もなく、在校生の参加もない卒業式は、子どもたちにとっても保護者にとっても、先生方にとっても、そして毎年列席させていただいている私たちにとっても、「残念」という言葉だけでは言い表せない式となりました。人生の一つの節目をこのような形で迎えざるをえなかった卒業生たちが、この経験を「バネ」に、強く逞しく生きていって欲しいと願っています。

◆3月24日役場前の駐車場で、町内の生産者による農産物や魚介類の販売が行われました。販売開始前からマスク姿で多くの方が詰めかけ、整理券を手に順番を待たれていました。販売された品々はどれも、新鮮でおいしいと評判で、この販売会を楽しみにしておられた方も多く、生産者との間にたくさんの笑顔が交わされた中、短時間で売り切れました。地産地消、地場産業発展のために、今後もこうした機会を設けていきたいと考えています。

播磨町長 清水ひろ子

播磨町で獲れた魚とアサリ、播磨町で採れたイチゴと野菜を販売しました

住民グループ ☎079(435)2364

播磨町漁業組合で養殖に取り組んでいるアサリと古宮漁港で水揚げされたヒラメ、カレイ、ガシラ、タコと干シダコ、町内で栽培されているイチゴ、ハウレンソウ、ユリの花など、町内の漁業と農業を多くの人に知ってもらうために役場で販売会を実施しました。



▲大粒のアサリ

当日は、朝8時30分からの販売開始時刻より早くから多くの人が集まりました。混乱を避けるため整理券を配布して順序良く購入していただきましたが、用意した魚や野菜、生花は15分程度で売り切れ、アサリ120袋とイチゴ150パックも60分以内にすべて完売しました。



▲播磨町で獲れた海産物と播磨町で採れた農産物

兵庫教育大学と連携協定を締結

学校教育グループ ☎079(435)0545

3月26日、播磨町教育委員会と国立大学法人兵庫教育大学が、連携協力協定を締結しました。

本協定により、教育委員会や学校などで行う教職員の研修について、大学と相互に協力し、教育現場のニーズに柔軟に対応しつつ、より組織的、計画的に取り組めるようになります。教育現場の課題は、複雑化、多様化しており、教職員のますますの専門性が求められています。播磨町の児童生徒にわかる授業、そして学力向上のために、意義深い締結です。



▲加治佐学長と横田前教育長

楽屋裏
 自転車通勤をしてみました。毎日というわけにはいきませんが、都合のつくときには7キロの道のりを自転車で通勤します。帰り道、上り坂に疲れて公園でひと休み。その日は大きな満月「スーパームーン」が満開の桜を照らしていました。そういえば、毎日バスに乗っていると、きに通っていた道からも桜は見えていたはずですが、気づきませんでした。友人からの「元氣?」というラインが届いたので、桜の写真を添えて「おちついたら、一緒に出掛けようね」と返信しました。
 一日も早く、日常が戻ってくることを願っています。(宮)

令和元年度の卒業式 工夫を凝らして挙行しました

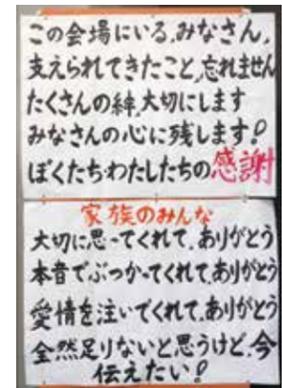
学校教育グループ ☎079(435)0545

3月17日に町立中学校、23日に町立小学校の卒業式が行われました。



▲卒業証書を授与されて胸を張る卒業生(蓮池小学校)

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐために、3月3日からの休校が続いている中での卒業式の開催となりました。例年と同じように行うことはできず、在校生は出席せず、来賓も少なく短時間の卒業式でしたが、校内放送で在校生からの声を届けたり、会場入口に卒業生からの言葉を掲示したり、今やれることをやるという工夫を凝らした忘れることができない卒業式になりました。



▲会場入り口に掲示された卒業生からの言葉(蓮池小学校)

住民から手作りマスクをいただきました

企画グループ ☎079(435)0356

匿名の住民の方より、手作りのマスクを寄贈いただきました。素敵な柄の大人のマスク13枚、かわいいキャラクターの子ども用マスク45枚。さっそく一つ一つを袋に入れて役場1階のロビーに置かせていただきました。訪れた方に喜んで持ち帰っていただき、翌日にはすべてなくなっていました。

その後もさらに寄贈をいただきましたが、お名前はわかりません。心ある贈り物をいただきましたこと、ありがとうございました。



蛍の幼虫を放流しました

すこやか環境グループ ☎079(435)2721

3月15日、野添北公園にある蛍の養生水路(ビオトープ)に蛍の幼虫を放流しました。公園に居合わせた親子は、初めて見る幼虫の姿にびっくり。初夏に成虫となって飛ぶことを楽しみにしながら、掌にそっとのせて水の中にやさしく放流していました。

養生水路を手入れしているふれあいエコアップ塾の藁科さんは「北公園ビオトープはホタルの幼虫の餌となるカワニナが豊富で稚貝の育成状況も良好、ホタルの自生も多数確認出来、今年も、安定したホタルの発生が期待できます」と話しています。



▲手にした幼虫をそっと水路に放流



▲蛍の幼虫 ※順調に育てば5月末~6月初めに成虫が飛びます。

わんぱく はりまっこ



まつもと 4歳
 はるき 6ヵ月
 ひろき
松本 悠生くん(左)・寛生くん(右)
 (本荘)

毎日たくさんの笑顔と幸せをありがとう
 (おとうさん・おかあさんより)

※撮影時の年齢です。